

有明高専だより

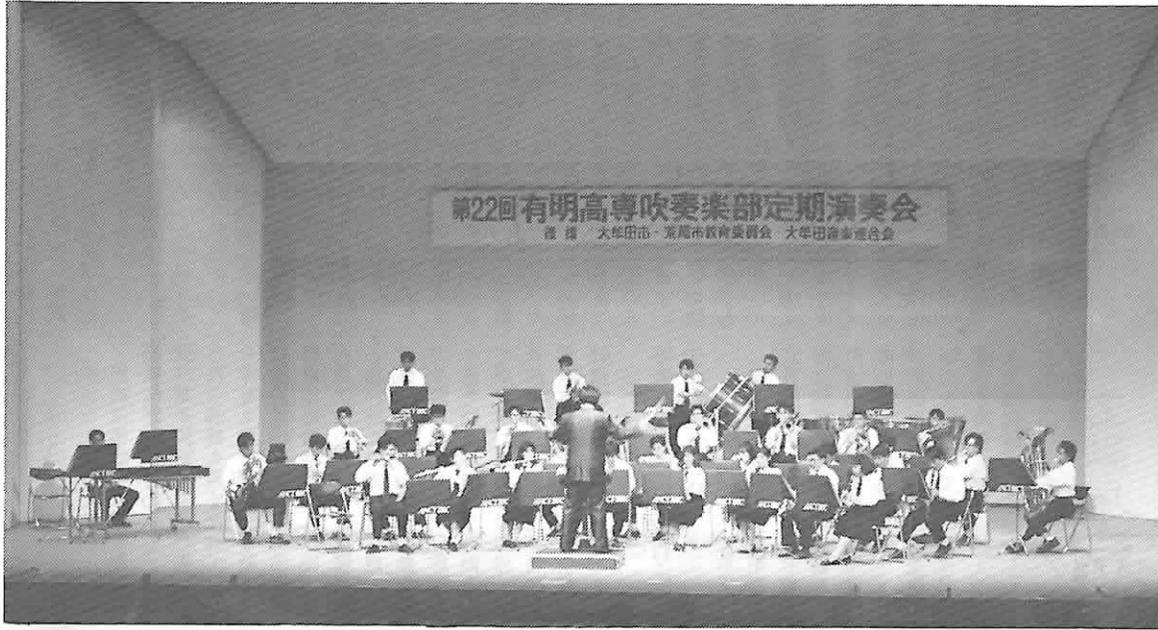
第75号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-1013

印刷：(株)ブリテックえんめい



第22回有明高専吹奏楽部定期演奏会を終えて

去る1月26日(土)に大牟田文化会館大ホールにて、私達吹奏楽部は第22回定期演奏会を開催致しました。

演奏会は2部構成で、1部では「美中の美」、「マジュスティア」、ブラームスの「ハンガリー舞曲第五番」、ボロディンの「イーゴリ公」より「ダッタン人の踊り」を演奏致しました。特にクラシックの2曲は大曲でしたが、指導の菅原一智先生(歴木中音楽教諭)によって、よくまとめて頂き、最高の出来だったと思います。

2部は、ビッグバンドとポピュラーに分けて演奏致しました。ビッグバンドは部員12名による編成で、「茶色の小瓶」や、「A列車で行こう」などを演奏し、大変好評でした。また、ポピュラーでは部員全員で、「ロッキーマン」、「バックトゥーザフューチャー」のテーマ曲や、ディズニの有名な曲ばかりを集めた「ディズニメドレー」など、アメリカでヒットを起した曲を中心に、約600人の観客を前に、本校一年生の指揮のもとに演奏し、これも好評でした。

私達吹奏楽部はこの演奏会を有意義なものとする為に、一層努力してまいりますので、今後とも皆様方の暖かい御支援と御理解の程

よろしくお願い致します。
最後に、この演奏会を開くにあたって御尽力下さった方々に、部員一同心より御礼申し上げます。
実行委員長 3M 近浦英樹

目次

- 1 第22回有明高専吹奏楽部定期演奏会
- 2 若さを大切にしよう
平成3年度入学志願者数
平成3年度新入生オリエンテーション日程
平成3年度編入学試験
福岡県内工業高校生並びに専門学校生による建築設計競技
人事異動
- 3 平成3年度研修旅行計画
工場見学
バイク実技講習会
- 4 卒業研究一覧
卒業を前にして
- 6 クラブ表彰学生予定者一覧
卒業予定者の進路
- 8 図書館だより
- 9 学寮だより
- 10 学生会指導者研修会報告
体育系クラブリーダー研修会報告
- 11 冬季球技大会報告
井上貴明君留学先で大活躍
一四一人が献血に協力
- 12 教室通信
事務部からのお知らせ
編集後記

平成3年度 研修旅行計画

機械工学科 5・8(木) 大牟田8:24発有明8号→博多9:45発ひかり8号→名古屋12:37着・三菱重工名古屋航空機製作所見学。名古屋宿泊 5・9(木) トヨタ自動車株式会社工場見学→大隈鉄工所見学→名古屋16:54発ひかり21号→京都17:40着。京都宿泊 5・10(金) 京都終日自由研修。京都宿泊 5・11(土) 京都市内見学→大阪空港→福岡空港16:30着解散	電気工学科 引率教官 永守他1名 5・8(木) 大牟田8:24発有明8号→博多9:45発ひかり8号→東京着15:32。東京宿泊 5・9(木) 東芝科学館、日本電気株式会社工場見学。東京宿泊 5・10(金) 自由研修。東京宿泊 5・11(土) 午前日本航空機羽田整備工場見学。東京(羽田)13:00頃JAL363便→福岡14:40頃着、解散 東京宿泊所:〒150 東京都渋谷区道玄坂2丁目26-1 渋谷聚楽 TEL 03-3463-7501	工業化学科 引率教官 渡辺他1名 5・8(木) 8:54 有明10号大牟田駅(出発)博多駅9:54ひかり10号13:30高砂市・鐘淵化学工業高砂工場見学 18:00大阪泊(大野屋旅館) 5・9(木) 9:00寝屋川市・日本科学技金大阪工場見学 11:45万博会場(昼食)14:00摂津市・ダイキン工業淀川製作所見学 17:30京都泊(新・都ホテル) 5・10(金) 終日自由行動 京都泊(新・都ホテル) 5・11(土) 京都市内見学(清水寺、金閣寺、平安神宮) 京都IC→豊中IC→大阪空港JAL311便16:30福岡空港(到着)解散	建築学科 5・8(木) 大牟田(新)→新神戸→神戸異人館→奈良泊 9:00頃 14:03 5・9(木) 奈良→法隆寺→薬師寺→東大寺 8:30 9:10~10:40 10:50~11:30 唐招提寺→奈良公園(昼食)→東大寺 11:40~12:20 12:50~13:30 13:40~14:10 →二・三月堂→春日大社→京都泊 14:10~14:30 14:40~15:10 5・10(金) 終日自由研修 京都泊 5・11(土) 京都→大阪ツインビル等(昼食)→大阪空港→福岡空港解散 9:30~13:30 14:15 15:30頃 16:30頃
--	--	--	---

工場見学

7月13日 3C 凸版印刷熊本工場 9月5日・6日 1M ブリヂストンサイクリクル旭工場 九州松下電器福岡工場 9月13日・14日 2E 三菱電機福岡製作所 九州電力株式会社海原子力発電所 9月18日・19日 3A 三池コンクリート工業株式会社 大牟田工場 福岡トヨソーサツン工業株式会社 10月1日 4M 協同組合金型プラザ 10月19日・20日 4A 熊本県立美術館 熊本県立美術館 熊本県立東陵高等学校 南小国町立中原小学校 小国町開発センター等町立施設 10月25日・26日 3A 北九州市立図書館 北九州市立視聴覚センター 東陶機器株式会社 北九州市立美術館 新日本製鐵株式会社 三菱鉱業セメント株式会社 九州事業所 黒崎工場 10月29日 4A 大牟田市立倉永小学校 10月30日・31日 2M 平田機工株式会社ロボット工場 三菱電機熊本製作所	11月7日・8日 3M セイレイ工業福岡工場 通産省工業技術院 九州工業試験所 11月8日 4E 九州電力株式会社熊本変電所 九州電力株式会社黒川第一発電所 11月8日 5A 福岡銀行本店 共立建設九州支店 シーサイド百道国際海郷都市 11月8日・9日 2C 新日本製鐵大分製鐵所 住友化学工業大分工場 11月15日・16日 3C 東陶機器株式会社 三菱化成工業株式会社黒崎工場 黒崎製糖株式会社 三菱鉱業セメント株式会社黒崎工場 11月22日 4C 三井東洋化学株式会社大牟田工業所 11月28日 3E 福岡プリズトン 久留米工場 12月5日・6日 2I 直方東芝エレクトロニクス株式会社 福岡川電機製作所 株式会社スワールド 1月21日 3M 株式会社三池製作所三池工場 2月5日 2M 富士ダイス株式会社
---	--

バイク実技講習会報告



平成2年11月17日(土)午後2時から、バイク実技講習会を行った。二輪車普及協会から14名、警察から2名の方々に来て頂き指導をお願いした。今回は、2・3年の事故・違反が多いこと及び指導の効果を考え、主たる対象を3年以下のバイク通学生とした。参加学生は一四〇名余であった。

指導員の紹介・概要の説明の後、3班に分かれて、右折・踏切・S字の練習、スラローム・一本橋、ブレーキテスト等を行った。最後に工業化学科三年葉玉豊一郎君が、学生を代表して「安全運転宣言」を行い無事終了した。

なお、当日都合により講習会を受けられなかった学生10名に対しては、荒尾第二自動車学校の協力を得て12月8日講習会を行った。講習会に御協力頂いた方々に感謝したい。

若さを大切にしよう

校長 竹村 哲男



新年おめでとう。皆家族と共に良い正月を迎えたことと思います。新年に当たり「若さを大切にしよう」というお話をしようと思えます。

時間は誰にも同じように経過してゆきますが、若い人には一年は長く、年寄りには一年が短く感じられます。これは新しい知識を受け入れる容量が年齢により異なるのです。大ざっぱに言って、時間の感覚は、その人の年齢の逆数に比例する様です。従って六十才の人の一年の感覚は、十五才の人には四年、二十才の人には三年になります。つまり十五才の人の新しい知識を受け入れる容量は、六十才の人の四倍、二十才の人の新しい知識を受け入れる容量は、六十才の人の三倍になります。さらに若い人にとって有利なことは、年取った人が年月をかけて完成した事柄は整理された知識となっており、その吸収が簡単にでき

平成3年度 入学志願者数

平成3年度の入学者選抜は、五学科に対して行われる。過去二年間は電子情報工学科の人気に支えられ、倍率も高くなっていったが、今年度も電子情報工学科効果はまだ続いているようである。また、倍率はその年度の入試説明会・校内見学会の参加者数に関係があると言われている。十五歳人口の減少があるものの説明会参加者数の増加から今年も倍率は昨年より余り落ちないのではないかと予想していたが、昨年より二十一名多い八五七名が志願した。特に機械工学科、建築学科、電子情報工学科は倍率が高く、平均倍率も四・三

平成3年度新入生オリエンテーション日程

平成3年度は四月三十日(火)から五月二日(木)まで二泊三日の予定で国立阿蘇青年の家(阿蘇郡一の宮町東小堀)で行われる。時期が連休の間に入り込んで学生への連絡がスムーズにいくか懸念されるが、新入生にとっては好都合かも知れない。今年も阿蘇の雄大な自然の中での研修成果を期待したい。

平成2年度 入学志願者数

機械工学科	二〇八名(五名)	五・二倍
電気工学科	一一九名(一名)	三・〇倍
電子情報工学科	一八三名(五三名)	四・六倍
工業化学科	一三八名(二一名)	三・五倍
建築学科	二〇九名(六〇名)	五・二倍
合計	八五七名(二四〇名)	四・三倍

()は女子志願者数

平成3年度編入試験

工業高校生を対象にした編入試験は平成二年八月二十日に行われ、機械工学科、工業化学科、建築学科合わせて五名の合格者が既に決定して前号の高専だよりで紹介済みである。

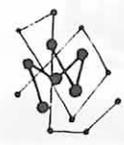
平成二年十二月十七日に行われた編入試験は普通高校生を対象にしたもので、工業化学科が募集した。十一月月中旬に工業化学科で二十六校程訪問してPRに努めた。その結果、全学科編入試験をして欲しいとか、高校三年生の進学のチャンスが増えるため歓迎したなどの意見・感想はあったものの、電子情報工学科主任 瀬々浩俊

当初3年以下4名、4年以上15名が挑戦したが、出品した者はそれぞれ3名・9名であった。結果は、3年増田成政君が佳作に、4年古瀬秀幸・佐藤裕次郎の両君が協会賞に入選した。

今後、3年以下の応募者が増えること及び、課題に対する明確なコメントを提示することが望まれる。

人事異動 (報告 北岡)

◎平成2年11月1日付
▼任命▲



第24期生 卒業研究テーマ

平成3年3月卒業予定学生諸君の卒業研究テーマを学科別に示す。報文番号・報文題名・指導教官名・学生氏名の順に示す。

機械工学科

- 1. 金属における高温変形応力の変形経路依存性(宮川)
2. セラミックスのX線の弾性定数の測定とセラミックス、軟鋼の拡散溶接の研究(大山・宮川)
3. 熱間鍛造用金型に関する研究(南)
4. フロン代替熱媒体のプール核沸騰熱伝達特性(その1)(庵原)
5. フロン代替熱媒体のプール核沸騰熱伝達特性(その2)(庵原)
6. 二相二重管熱サイホン内のサブクール沸騰熱伝達と限界熱流束(吉田)
7. 滑り軸受についての実験研究(倉橋)
8. 可視流れ教材の開発(倉橋)
9. 30°異形Y字管における気液二相流の研究(猿渡)
10. 60°異形Y字管における気液二相流の研究(猿渡)
11. 全方向移動可能な無人搬送車の非干渉ロボスタ適応制御(川崙)
12. ニューラルネットワークによる天井クレーンモデルの制御(川崙)
13. 回転壁面噴流の安定性に関する実験的研究(山下)
14. 深穴加工における曲がり制御(田口・明石)
15. 深穴加工における水溶性切削剤の適用について(田口・明石)
16. 新型ドリルの加工性能(明石・田口)
17. 強ねじれエンドミルの切削性能(明石・田口)

- 4. プログラマブルコントローラを用いたシーケンス制御(須藤)
5. 回路応答の数値計算(辻)
6. 回路図の自動描画プログラムについて(辻)
7. GPIBに関する研究(近藤)
8. パソコンを用いたロジックICテストの試作(近藤)
9. アモルファス磁歪線における磁気弾性波の励振検出(小沢)
10. アモルファス磁歪線における磁気弾性波の伝搬特性(小沢)
11. 石油タンク内の電位計算(浜田)
12. 同軸円筒電極内のコロナ放電特性(浜田)
13. 言語指向型エディタの試作(松野)
14. EWSにおけるアセンブリ言語教育システムの開発(松野)
15. スイッチングコンバータのトポロジー解析(中原)
16. DA変換を用いた信号処理(中原)
17. Hyper Cardを使用したCAIシステムの試作(堤)

工業化学科

- 1. シランカップリング剤による沈澱シリカの変性(1)
2. シランカップリング剤による沈澱シリカの変性(2)
3. シリカ上のシランカップリング剤のFT-IRによる定量(木佐木)
4. ウリカーゼ固定化粒子を用いた尿酸センサー(永田)
5. ASODによるL-アスコロビン酸の分解反応(永田)
6. 固定化酵母によるアルコールの生産(永田)
7. ポリウレタン低分子モデル化合物のPyHRGC-

電気工学科

- 1. デジタル制御系の基礎研究(荒木)
2. プロセス制御系モデルの試作とシステム同定の研究(荒木)
3. 誘導電動機のインバータドライブの研究(須藤)

FTIRによる熱分解生成物の検討(吉武)

- 1) モノウレタン、ジウレタン化合物について
2) モノウレア、ジウレア化合物について
3) フロハナート化合物について
4) ビューレット化合物について
8. セルロース大型ビーズの調製(松本)
9. 親水性ゲルの調製(松本)
10. ヘチマのアセチル化条件の検討(松本)
11. N,N-ジメチルアクリルアミドゲルの懸濁重合による合成(松本)
12. 低圧における気液平衡関係の測定及び熱力学的健全性の検討(渡辺)
13. 低圧における気液平衡関係値の補正法について(渡辺)
14. 化学合成二酸化マンガン(CMD)と各種リチウム化合物からのリチウム二次電池用正極活性物質の合成(宮本)
15. CMDと各種リチウム化合物の加熱処理物として用いたリチウム二次電池特性(宮本)
16. 炭酸マンガんとリチウム化合物からのリチウム二次電池用正極活性物質の合成(宮本)
17. 炭酸マンガんと各種リチウム化合物の加熱処理物を正極活性物質として用いたリチウム二次電池特性(宮本)
18. 溶射皮膜の超音波を用いた非破壊評価法に関する研究(川瀬)
19. 炭化及び窒化セラミックスの溶射技術に関する基礎的研究(川瀬)
20. ポリスチレン及びポリ(4-ヒドロキシステレン)の準希薄溶液に於ける粘度(氷室)
21. ポリ(4-ヒドロキシステレン)を含むポリマーブレンドのFT-IRによる分析(氷室)
22. ポリ(4-ヒドロキシステレン)溶液の曇点曲線(氷室)
23. ポリ(4-ヒドロキシステレン)及びポリ(2-ピリジン)溶液におけるコンプレックス形成機構(氷室)
24. イオン交換樹脂膜の単体膜及び複合膜のイオン透過性(塚本)
25. サーモトロピック高分子液晶の相転移に関する赤外分光学的研究(石崎)

挙動に関する実験的研究(玉野教官)

- 石井裕治郎・川田 寛・古賀勇司・森 崇
2. RC柱の静的弾塑性挙動と曲げせん断抵抗機構に関する研究(玉野教官)
3. 流動化軽量コンクリートの性質に関する実験的研究(吉岡教官)
4. 鋼材の疲労強度に関する研究(原田教官)
5. BASICによる建築構造計算……モーダルアナリシスによる応答解析(原田教官)
6. 欧米の病院建築計画に関する研究……病棟における看護関係諸室の配置について(新谷教官)
7. 大牟田市上官地区沿道型区画整理事業に関する研究(新谷教官)
8. 大牟田市における高齢者の医療施設利用に関する研究(新谷教官)
9. 吊屋根構造物の励振発生メカニズムの実験的研究(三宅教官)
10. 地方都市における公共図書館の設置計画に関する研究……玉名市民図書館の利用について(北岡教官)
11. 大牟田市における高齢者の住宅・住生活環境に関する研究(北岡教官)
12. 道路交通騒音に対する社会反応に関する調査研究(山下教官)
13. パソコンによる空気調和計算……湿り空気の状態の計算と空気線図の作成(山下教官)
14. 剛体バネ要素法による鉄筋コンクリート構造物の弾塑性解析……多層多スパンラーメン構造物の解析(上原教官)
15. 剛体バネ要素法による鉄筋コンクリート構造物の弾塑性解析……軸力が変動する部材の解析精度について(上原教官)
16. 高良山の神籠石に関する研究(宮本教官)
17. 神社配置に関する研究……古代の聖三角形について(宮本教官)
18. 福岡県における天台宗寺院の衰微に関する研究(宮本教官)
19. 久留米市における石鳥居に関する研究(宮本教官)
20. 日本建築における建築用語に関する研究(宮本教官)

建築学科

- 1. 高軸力と動的曲げせん断力を受けるRC柱の弾塑性

卒業予定者の進路

機械工学科

池田 祐嗣	凸版印刷株式会社
井手 恒徳	株式会社メイテック
岩本 和夫	山九株式会社
大熊 啓臣	株式会社日立ビジネス機器
小笠原幸雄	平田機工株式会社
越智 雅史	株式会社ヨロズ
柿塚 真史	三菱プレジジョン株式会社
梶原 秀和	三菱重工工業株式会社
梶原 秀和	三菱重工工業株式会社
木下 茂	豊橋技術科学大学
倉本 守	日産自動車株式会社
藤原 正司	東京エレクトロン株式会社
古賀 智	松下電器産業株式会社
小塚 忠史	三菱重工工業株式会社
小玉 健二	大日本スクリーン製造株式会社
小宮 史朗	日鐵プラント設計株式会社
近藤 啓二	九州松下電器株式会社
後藤 英	九州工業大学
高鍋 欣資	株式会社ブリヂストン
竹上 佳宏	三菱電機株式会社
塚本 克則	株式会社安川電機製作所
長島 一仁	菱化テクノ株式会社
那須 弘明	出光興産株式会社
鳥添 修行	日本たばこ産業株式会社
馬場 健隆	アイシン精機株式会社
廣瀬 健次	カシオ計算機株式会社
福田 輝孝	日野自動車工業株式会社
前原 修	三菱レイヨン株式会社
牧原 幸司	サン情報サービス株式会社
峯 聡	ヤマハ株式会社
三原 靖	富士通九州通信システム株式会社

電気工学科

村田 亮輔	東洋製罐株式会社
村本 孝一	九州富士フアコムシステム株式会社
森永 勉	株式会社日立製作所
有吉 政人	西部ガス株式会社
池田 太	三菱電機九州コンピュータシステム株式会社
糸永 浩二	日本電気アイシーマインコンシステム株式会社
上津原英也	株式会社竹中工務店
大坪 博士	富士通九州ディジタルテクノロジ株式会社
片岡 太郎	日立造船株式会社
樺島 和英	三菱電機株式会社
川野 雅浩	横河ジョンソンコントロール株式会社
木村 淳一	日本テレコム株式会社
栗原 博志	松下電機産業株式会社
古閑おる	九州ナショナル設備機器株式会社
古賀 敏明	フナック株式会社
古賀 智之	豊橋技術科大
古瀬秀一郎	安川情報システム株式会社
貞木 誠	メイテック株式会社
定森 努	三洋電機株式会社
佐藤 功	株式会社日本電気計器検定所
猿渡 哲也	大日本スクリーン製造株式会社
柴田 清隆	三菱電機エンジニアリング株式会社
高見 等	富士通株式会社
只限 伸二	東京エレクトロン株式会社
田中 圭介	三菱電機コントロールソフトウェア株式会社

工業化学科

藤井 昇	株式会社九電工
堀川 浩太	川崎重工株式会社
本田 博敬	日本電気株式会社
前田 武宣	日本テックスインシステム株式会社
前原 典明	九州松下電機株式会社
松下 稔	九州富士フアコム株式会社
水本 浩一	住友電設株式会社
溝田 源文	安川電機製作所株式会社
宮崎 康通	株式会社東芝
宮本 健多	日立電子サービス株式会社
宮本 徹	豊橋技術科大
村上 完	三菱重工長崎造船所
山下 直	安川エンジニアリング株式会社
山本 幸一	三菱セミコンダクタソフトウェア株式会社
吉田 正	三菱電機ビルテクノサービス株式会社

建築学科

小島 博二	東レ株式会社
進藤 良晃	旭化成工業株式会社
竹島 幸一	長岡技術科学大学
田嶋 信広	九州不二サッシ株式会社
富松 利夫	株式会社丸富(自営)
内藤 英寿	富士電気化学株式会社
中村 誓	大日精化工業株式会社
南家 豊	旭化成工業株式会社
信國 豪志	三菱瓦斯化学株式会社
野村 英治	豊橋技術科学大学
橋岡ひとみ	三岩システムエンジニアリング株式会社
濱崎 憲章	富士チタン工業株式会社
原田 宏司	日本鉱業株式会社
久常 賢治	日立化成工業株式会社
平岡 修一	武田薬品工業株式会社
前田 和美	テイサン株式会社
松井信一郎	九州工業大学
松尾 一博	京セラ株式会社
松田 憲亮	長岡技術科学大学
松野 誠志	九州工業大学
水間 貴光	森永乳業株式会社
安田 直子	ユニチカ株式会社
安田 雅也	トヨーサッシ株式会社
安松 真	住友金属工業株式会社
山本 幸市	株式会社フジキン
吉田 哲也	凸版印刷株式会社

甲斐田 洋 清水建設
川添 健一 徳岡昌建築設計事務所
川田 寛 株式会社浅沼組
清武 修一 自営
古賀 誠也 住友林業株式会社
古賀 誠也 住友林業株式会社

卒業を前にして

機械工学科 井手 恒徳



高専生活もあとわずか。この五年間の中で、自分が一所懸命取り組んだものを思い出してみたい。

登山部、生物愛好会、RPG愛好会、高専祭、体育祭、球技大会、ロボット・コンテスト、卒研等。

しかし、どれもこれも失敗だらけだ。体調を崩した、緊張感に押しつぶされた、鍛練が足りなかった等々。

これを見ても、一所懸命に取り込みながら、大詰めでは失敗ばかりしている。よく言えば情熱的だが、結局、無理・無茶・無謀の影武者である。計画性が無く、ペー配分の下手クソな自分がなんとも情けないものに見える。

自分の力量を考えず、分不相応なことに手を出して、そして失敗ばかりして……。

それでも、いくら失敗をしようとも、自分は同じことを繰り返すだろう。自分は楽な道であり、減らさず多量な事だけめぐることはない。突走れるだけ突走り、疲れたら自分の尻をたたいてまた突走ると。

こうしていれば、程々の仕事をし、程々の成功を得る奴らより、ずっと速くまで行けるだろう。気がついた時には大きな力が自分に備わっているだろう。そう信じているからだ。

高専の五年間ずっと

「失敗は成功の母」

「人間万事塞翁馬」

「従容として運命に従うな」

「限界はあきらめた時にやってくる」

こう思い続けるなら、逆境の中でもめげる事はない。いつでも一所懸命やってこれた。

最後に一言。

「やるからには不撓不屈」



少し悪い感じがしたが、いつの間にか自分が、そのように思われる立場になってしまった。そもそも自分が高専にこんなところに入った動機としては、大学に魅力を感じず、高専だとあまり勉強せずに就職がよきそうだったからで、中学三年の時、高専については、国立で、五年間あって、就職が良いというところを知った程度で、高専にこんなところに入った程度で、高専にこんなところに入った程度で、高専にこんなところに入った程度で……

工業化学科 平岡 修一



私がここ有明高専に入學して来て、もう五年間が過ぎようとしています。入學してくる時は、五年間なんて長いなあと思っていましたが、終わりに近づいてみると、短かいものでした。

校門をくぐって来る時は、不安

最終学年になり、人生を大きく左右する就職試験が待っています。

しかし、今、考えてみると、これから社会に出ていくために必要なことを教えてくれたのだと思います。

三年の夏、高専大会で足をケガして三ヶ月間入院し、定期試験を一回受けられませんでした。すると、クラスの友達がノートを貸してくれて、学校に復帰するころはある程度授業の内容を理解していたのでとまどうことはありませんでした。普段、何げなくつき合っていたのではこのような友達という偉大さは、解らなかつたと思います。高専で一番いいことは、五年間クラスが同じだということです。ずっと同じ顔をつき合わせて暮らしていくので、生涯の友になってくれることだと思います。

銀杏棟 学寮だより 青葉棟 紅葉棟

春に新一年生を迎えた寮も、皆の一年間の成長を見とどけて、はや年度末にきています。この「学寮だより」には、新旧寮生会役員の話と、後期の寮行事一つ、それに四月からこの高専で学ぶ最初の留学生林(リム)君からの便りを紹介しましょう。

一年間を振り返って

旧務 5M 小玉 健二
私は一昨年の十一月から、寮自治会の総務渉外の仕事をしています。具体的には、寮の電話番番表の作成と、寮長の補佐的な役目という内容のものです。

そして、卒業を意識し始めた今、私は、あの頃はただただ忙し過ぎていたなあと感じています。

全然無さそうに、次から次に片付けてしまわなければならない仕事、毎日追われていました。寮生漫歩、球技大会、そして寮祭。行事の前の下準備が、これ程大変なものだとは思っていませんでした。私でさえ、大変だと思っているのだから、寮長だった島添君は、苦勞の連続だったことでしょう。しかし、そんなに苦勞した行事が成功に終わった時は、それまでの疲勞も忘れ、「やったー」という気持ちで、少しの感動をも感じました。

私達がやってきた仕事の中で、一番苦勞したのは、何と言っても朝のラジオ体操の廃止でした。毎朝のように、寮務主事室の先生方と、夜遅くまで話し合ったこともありまして。寮生全員に、生活を充実させて先生方に認めていただくように呼びかけたりもしました。

た。しかし、朝点呼に出るのでさえ億劫になった最近、私は、あの時頑張っておいて、本当に良かったと感じています。朝点呼の時、こんなに寒い中で、誰しもが長い時間外にいたいとは思ってはいないでしょう。

私達が達成できたのは、ここまでの話。また、部屋のカーベットの問題など、達成できなかったものも、いくつもあります。それらを一いつずつ新寮生会役員および寮生みんなの手で達成してもらいたいと思っています。

頑張ってください。私達と一緒に、仕事などの準備をしてくれた旧寮生会の皆さんには、本当に感謝しています。

御苦労様でした。

そして、私達の実行の手助けを一番していただいたのは、主事室の先生方、寮務主事室の方でした。ラジオ体操の件では、寮生の言葉で一般の先生方に伝えていただき、そして説得していただきました。ありがとうございます。

私達が、一年間を振り返って思うことは、苦勞もしたけど、やって良かったということです。

新寮長より

4M 中川 英貴
「一年生から五年生までが、楽しく生活できる寮にしよう。」これが一年間の目標です。「今までは寮生活をできて思ったことは、今までの寮は、主事室の先生方や寮長や三役だけで色々な事を決めていたように思えます。これを決めて、寮生が、納得できていなかった部分が多かったと思う。

確かに自分が入学した当時に比べて、ここ一、二年で寮は、大きく変わり、良くなっていると思う。しかし常に上級生と下級生のどちらかが、納得いってなく、不満が多かったように思う。自分が寮長になって思った事は、役員を上級生だけでなく下級生も多くし、幅広い学年が意見を言い合えるようにし、全員が納得行くようにしたいと思った。一年生から五年生までが楽しい寮生活ができるように頑張りたいと思うので、寮生のみならず自分の意見を言うだけでなく自分たちが、しないといけない事はきちんとするようにしよう。これから一年間、役員だけでなく、寮生全員で、寮がもっともっと良くなるように頑張ります。最後に旧役員のみならず、一年間ごくり様でした。

寮祭

4M 高田 賢児
副寮長の開会宣言が始まった今年の寮祭、開会式では先生方の話があったが、夕食を食べることに夢中で話さ聞いていない人が居たのでは？

まずは2年生のパフォーマンス。有明高専フッシュンショーと銘うって、作業衣、白衣に学生服、おまけに水着まで飛び出した。しかし一番光ったのは剣道の面下をつけた面下フッシュン。次は二人羽織によるケキの早食い。一瞬にして口に運ぶ人もいれば鼻で食べたり顔で食べたり顔をケキにだらけにした人も。一年生によるパフォーマンスは、1年生によるパフォーマンスは、コント。あの二人組は全員を笑いの渦にまきこんでいた。いやあ、今年はずいぶん1年生が入ってきた。

力自慢を決める腕相撲、寮のシ

エワちゃんには誰に。4、5年有利と思いきや優勝したのは3年生。すごい、よくやった。寮務主事室の先生方による主事室タイム。何をやっていただけたのかと思った。主事室の先生方による「踊る俗明寮」の合唱。寮生、あ然。

私

林 仲敏 (リム チョンベン)
私はマレーシアから来た林仲敏です。今は東京都中野区の寮に住んでいます。寮生は全部十四名マレーシアからの留学生になっています。国際学友会日本語学校は、一生懸命に日本語と基礎知識を勉強している学校です。日本に来たから今でももう十月月になったので今もすっかり東京の生活にも慣れて、日本人と仲良くなられました。

家族は四人と一匹です。両親と私、妹、それにポビという名の犬です。父はマネージャーなので、サラリーマンのように毎日決った時間で出勤します。母は主婦なので毎日家庭の仕事をしています。妹は銀行で働いています。

私の趣味はスポーツです。どんなスポーツも大好きですが上手ではないのです。スポーツのほかに音楽を聞くと小説を読むとかゲームをするとかいった趣味が好きです。また、特に夜の時、星を見ることは好きです。

私の誕生日は日本の正月と同じようになります。だからよく覚えやすくあります。私が生まれた所は漁村でした。その時、両親は祖父の家に住んでいた。祖父は漁夫だったので毎朝家を出て海へ行きまして、夕方まで家へ帰ったので。だから、毎日魚を捕ったって暮らして、毎日魚を捕った。その時の父はサラリーマンだった。私は子供の時毎日海へ遊びに行くとか森林へ狩りに行ったものです。とても楽しかった。祖父が亡くなった後で両親が北の漁村から南の町に移したのは今住んでいる所です。この町はシンガポールの近くにあるのです。



学生会指導者 研修会報告



昨年末、12月8、9日大牟田ハイツにおいて、学生会役員と学生主事室が起居を共にし、研修会を行った。参加者は、新学生会より太田黒学生会会長他16名及び堀口高専寮実行委員長、前学生会より後藤前会長ら3名、学生主事室より瀬戸学生主事他3名であった。

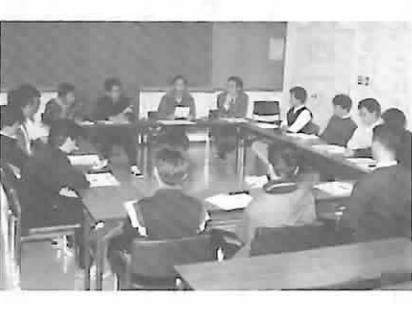
8日(午後)、学内でレクレーションを行った後、ハイツにおいて3時間余に渡り、新年度の学生会行事、高専寮の他、学内のさまざまな問題について意見を交わした。学生会からは、放送設備の改善等の要望の他、多数の女子学生への指導を円滑に行うため、女子学生を新たに執行部へ迎えたい等の案も出された(この件は12月22日の学生総会で承認された)。

今後、この研修会での成果を生かして、この一年を乗り切るものとする事を確認して終了した。

体育系クラブリーダー 研修会報告

バスケット部 太田黒庸行
昨年の話になるが去る12月1日、2日、2日間の日程で、篠栗の社会教育総合センターにおいて、体育系クラブリーダー研修会が行われた。参加者は各クラブの顧問やコーチの先生方、又キャプテン、副キャプテンであった。12月1日雪が舞って寒い日であったが、さすがみんな体育系とあって元気がありすぎ、バスの中は騒々しく楽しいものだった。

センターに着いてまず、個人競技、団体競技、又ラケット等をつかう競技にわかれ第一分科会を行った。チームは、①チーム管理とは？



②自己管理とは？であった。まずキャプテンに各クラブの方針や状況を言ってもらったが、やはりクラブの雰囲気向上が大きな課題のように思えた。これはやはり、高専という一五年生まで存在する中で、上級生と下級生とのギャップをどう埋めていくかに関係するのではないだろうか。

次に第二分科会では先生方と学生がわかれ、意見が交された。学生側では、部員をどのように引っぱっていくべきかについて、激しい意見の交換があった。例を挙げれば
(1)上級生から模範的態度を
(2)コミュニケーション
などの意見が出た。又、興味あるものは、「マネージャーの役割の再確認」といったものもあった。分科会が終わると就寝ではあつたがみんな一つの部屋に集まり、みな時間を忘れ、夜遅くまで、討論し合った。やはりみんなそれぞれ、問題をかかえ、悩んでいるようであった。

翌日は、報告会、レクレーションを行ない、帰路についたが、みんな、つかれたのか、バスの中はとて静かだった。最後にこの会を通じて色々意見交換でき、学べたことは自分よかったと思う。又このようにして、高専のクラブ活動がもっと活発になればと思った。

冬季球技大会報告

体育局長 4C 木原 敦
11月29日、朝、曇り空、雨が降るかもしれない。しかし先生方との協議の結果、晴天時の種目を決行することにした。

運動場ではサッカー、ハンドボール、体育館ではバスケットボール、卓球が行なわれた。サッカーにおいては、サッカー部の多大な協力のもと、各試合、例年になりに緊張感があり、ラフプレーなどには、イエローカードが空高く掲げられた。そんな中、球技大会の帝王、五年電気工学科が連戦にもかわらず、他のクラスを寄せつけられない強さで優勝を飾った。又、ハンドボールでは、予選リーグを圧倒的な強さで制し、その勢いで決勝リーグも制した五年工業化学科が優勝した。

に発揮する場であったであろう。季節とは逆に熱い一日であった。後日の反省会では、いろいろな意見が出された。大会終了時間が遅い、応援する学生が室内競技集中する事など。そして忘れてはならないのが、最近の女子学生の増加である。球技大会はクラスマッチなので女子学生の多いクラスはやはり不利であろう。そのため女子種目を作るといった案を煮詰めていきたいと思います。

今回の球技大会を終えて、学生は、どんな印象をもったであろうか。今回は、その思いに答える球技大会にしたいと思う。そして数名の怪我が出たものの問題なく大会を遂行できたのも、先生方をはじめ、学生会、各部の部員が協力してくれたお陰であります。ありがとうございました。

次回の球技大会は今までの大会にない女子種目の加入により、さらに盛り上がるよう努力したい。



井上貴明君留学先で 大活躍

井上貴明君(建築学科4年)は平成2年9月より、カナダ南東部のプリンスエドワードアイランド島のホールランドカレッジに留学中であるが、得意の英語力と高専で学んだ専門知識を生かして、現地で大活躍をしている。

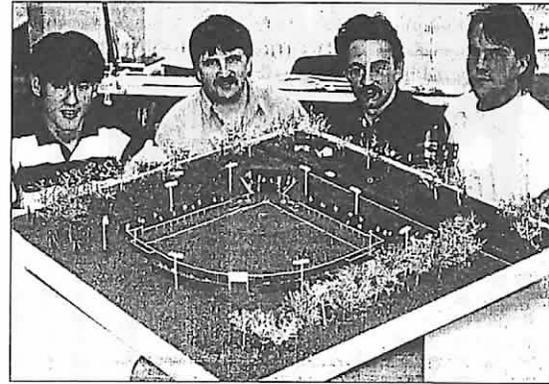
彼が他学生と共同で製作した球場の模型が決め手となり、一九九二年度のシニアソフトボール選手権大会が当地で開催されることになったのである。この事は、現地の新聞でも大きく取り上げられ、井上君達は賞賛をあげている(写真参照)。また、国内においても

読売・西日本・熊日等の各紙に紹介され話題となっている。

来年度からわが高専にもマレーシアからの留学生受入が予定される等、国際化が進んでいる。井上君の様に、在学中に外国生活を体験することも青春の有意義な過ごし方と思う。後に続く人の多からん事を願う。

一四一人が献血に協力

去る12月10日(月)、献血が行なわれた。これは、福岡県赤十字血液センターの要請により行われたものであるが、141人(うち学生129人)の協力があった。昨年より19人(うち学生16人)の増である。協力頂いた方々に感謝したい。



NEW CITY DIAMOND PROPOSED
The Charlottetown Football Association will use a scale model of the proposed new City Diamond complex at Victoria Park in their bid Friday night to win the 1992 Canadian Senior Men's Softball Championships. Administering the model are from LEFT, model maker Takasaki Inoue, CFA chairman Eddie Power, case maker Joe Tobin and model maker Shawn Keough. The model was constructed by the two students in the architectural technology class at Holland College Royalty Centre. The CFA will make its bid during the annual meeting of Softball Canada which opens today in Charlottetown. (See Stories Page 13, 14)

写真 左端が井上君、右端が共同製作者

教室通信

機械工学科

今回は機械工学科で実施されているCADの授業について紹介しましょう。CADとは一口に言えばコンピュータを使った設計製図ということで、従来の手計算、手書きの図面に比較して、正確、速い、修正が容易および大量の図面管理が可能等多くの利点があり、現在、産業界でも急速に普及しています。本学科においても、このような状況からCAD教育の必要性をいち早く認識し、昨年度、教育用CADシステム15セットを購入し、本年度より3年、4年、5年において週3時間のCAD教育を実施しています。授業では、システムの基本構成、CADの概念の理解および簡単な図面の作図等を行ない、CADとはどういうものかを体験し、CADに対する理解を深めています。学生も興味を示し、授業時間外の利用も積極的に行っています。今後は、システム台数を増やし、さらにきめ細かい実習ができるようになる予定です。

工業化学科

本学科では平成2年12月に普通高校からの第4学年への編入学試験を実施しました。他高専ではすでに実施しているところがあります。本学科では今年度が最初の実施です。佐賀県立伊万里高校から今福信嘉君が決定しております。皆さんの友人や知人で普通高校に行っている人で本学科第4学年に編入を希望する人がありましたらその制度が出来たことを教えて下さい。

編集後記

○前々号(七十三号)の8頁の電気工学科一年の大淵正晃君の顔写真を載せるべきところ間違えて大淵健児君の顔写真を載せてしまいました。関係者に御迷惑をかけたこと、お詫び致します。

○五階建ての電子情報工学科の建物も姿を現し、多少高いところに建てられたので高専ではきわだっています。三月中には完成するそうです。学生、教職員の方々も心待ちにしておられることと思います。

○例年通り今年も、卒業を目前にした諸君に五年間を振り返ってもらいました。

○平成三年度から高専だよりの発行回数が増え、また縦書きから横書きに変更される予定です。発行時期はまだ決まっていますが、これから検討されるでしょう。これは昭和五十八年より発行されている「校報」と重複する部分もあるという点、他の高専も年二回で、横書きが多いという理由からです。

一方、図書館だよりも高専だよりから独立して、発行される予定です。皆様方の御協力をお願い致します。

○最後に御多忙中にもかかわらず原稿をお寄せ戴きました方々に厚くお礼申し上げます。

事務部からのお知らせ

- ◎卒業式に大臣祝辞を準備
第24回の卒業式は3月18日に予定していますが、今年例年と異なり式典に大臣の祝辞を戴くよう庶務課にて本省と手続きを進めております。
- ◎5年生の机を更新
新年度から、5年生の机が新しくなります。大事に使いましょ。
- ◎平成3年度前期分授業料免除について……学生係
授業料免除を希望する学生は、期限内に遅れないように書類を提出して下さい。
- ◎授業料等の郵便口座振替を検討中
授業料等各納付金の口座振込みについては、事故防止と学生・保護者の利便の点から会計課では新年度から実施できるよう検討を進めております。
- ◎学生証について……教務係
4月は学生証の検印をします。全員もれなく検印を受けて下さい。また、新4年生は新しく学生証を作成しなければなりません。写真2枚を教務係へ提出して下さい。
- ◎学生証の検印をします
4月は学生証の検印をします。全員もれなく検印を受けて下さい。また、新4年生は新しく学生証を作成しなければなりません。写真2枚を教務係へ提出して下さい。

また、式典には学生となじみ、親しんだ技官にも出席してもらおうことにしています。